

聯合會別組織成績は第二表の如く關西地方部（主として關西紡織産業労働組合）の成績最もよく、次に大阪、九州の順位であり、東京聯合會は三五七名を減じた。
産業別組織成績は第三表の如く、雜工業最もよく、窯業、纖維工業の順位であるが、雜工業最も多いのは、同時に中小工場に最も多いことを示すものである。

聯合會別及産業別組織成績

團體協約運動の概況

本年度の成績

第四表 團體協約現在

組合名	協約数	關係組合員
東京 鐵工	6	440
中央合 同	5	525
關東 産造	3	51
神奈川 鐵工	1	16
秋田 鐵丸工	1	350
秋田 製材	5	305
染色 労働	3	76
東京 革工	1	180
出版 印刷	1	95
製鋼 労働	1	1602
大阪 合同	2	218
大阪 金 屬	1	35
京 都 金 屬	2	74
13 組 合	32	3970

團體協約運動は、我同盟の根本方針であるが、昭和七年八月末現在に於ては、第四表の如く、一三組合に依つて三二の協約が締結され、その關係組合員は三、九七〇名である。

本年度に於て新に成立せる協約は、第五表の如く、一〇會社、六五〇名であつた。依然として中小工場に多かつた。

我同盟が熱心に努力せるに拘らず、その成績の比較的上るるは、雇主の自覺足らず、加ふるに工業倶楽部、全産業其他の資本家團體が、最近に於て之を妨害し、若くは雇主が之に賛同して居るところが多い。然し乍ら、團體協約運動の勢いと雖も、年々その数を増加しつゝあることは、第六表に依つても知らる。我同盟は、今後變らざる努力を傾注しなければならぬ。特に、我同盟年來の主張たる「労働組合主義」の徹底が行はれ、組合の基礎が強固を加へ、健全性が增大すれば、増大する程、團體協約運動は、加速度に進展するのである。我等は、近來雇主の態度が、次第に開明化しつゝある傾向、労働組合特に我同盟に對する雇主の壓迫は次第に減少して居ることを明かに認めることが出来るのである。されば、團體協約の進展の思はしからざることに責任を雇主にのみ求めることなく、先ず自ら組合の内容充實を圖らねばならぬ。

第五表 新成立協約

會社名	組合名	組合員	成立年月
レナウンメリヤス株式会社	中央合同	170	7.7
東京油肥株式会社	"	25	7.6
ユニオンゴム工場	"	25	6.8
江口染工場	染色労働	19	7.5
櫻田機械製作所	東京鐵工	110	7.6
横濱織物更紗部	染色労働	9	7.8
鉄製造組合	大阪合同	90	7.6
良和ゴム株式会社	"	123	6
大谷金庫製造所	京都金屬	20	7.3
赤阪伸銅所	"	54	7.8
10 會社	6 組合	650	

中小工業と團體協約

目下、最も行詰りつゝあるは、中小工業であるが我同盟の團體協約協が、この中小工業に最も多いことを注目しなければならぬ。我同盟は中小工業に於ける團體協約運動を健全に發達せしめ、勞資關係の合理化を期すると共に、中小工業そのものに、統制を與へ、以つて中小工業發展の爲に協力しなければならぬ。今日の中小工業の雇主は、資本家に非ず之

第六表

團體協約累年表

年	關係組合	協約	關係組合員
大正13	2	6	405
14	2	6	405
15	3	4	2993
昭和2	5	10	3146
3	5	15	3169
4	7	20	3575
5	8	21	3821
6	10	23	3669
7	13	32	3970